

前回までの振り返りと 今回の趣旨・進め方

第6回新城市自治基本条例を考える市民会議
平成22年 7月 3日
ファシリテーター 今井 邦人

これまでの市民会議

- 4月24日 第1回市民会議
- ・市長と松下先生の話、委員委嘱
 - ・自治基本条例づくりについてのQ & A
- 5月15日 第2回市民会議
- ・話題提供：協働の自治基本条例づくりの考え方・進め方
 - ・新城市の自治基本条例づくりについて考える①
- 5月29日 第3回市民会議
- ・新城市の自治基本条例づくりについて考える②
 - ・「まちづくり大茶話会・しんしろ」について
- 6月12日 第4回市民会議：まちづくり大茶話会・しんしろ
- ・ずっと住み続けたい“しんしろ”をつくっていくために、みんなで“自治の芽”を育てよう
- 6月26日 第5回市民会議
- ・話題提供：自治基本条例のおおまかな全体像について
 - ・フリートーク（それぞれの自治基本条例への思い）

第2回市民会議(5/15)での問題提起

- 1) 「人口5万人のまち」の自治基本条例づくりとは？
- 2) 21人の市民会議委員の役割を考える
- 3) これまでの市民参加・協働の経験を活かす
- 4) 今、進めている自治の仕組みを育てるきっかけに
- 5) 市民・議会・行政の力・知恵を合わせるには？

【3つのグループで話し合い】



第2回市民会議・全体での話し合いから

- 作手地区の視察で学び、委員同士の交流を図ろう
～いわゆる過疎だが小学校の活動を地域のみinnで支えている地域がある
まちづくりの現場を体感しながら、がんばっている人達の話をおこ
委員同士ともに過ごし、コミュニケーションを図ろう
時期は7月頃(7/31か)、委員全員が参加できるように
→様々な活動の現場におもむき、まちづくりを考えよう(現場感覚が大事)
- 広報、情報発信を工夫しよう
～例えばホームページ。分かりやすいかどうか、innで意見を出し合おう
→多様なメディア(紙、HP、防災無線、口コミ、ケーブルTV、FM)
- 6月12日「まちづくりカフェ・しんしろ」
～まずは、新城市に関わる様々な人にたくさん集まってもらおう
→場をともにし、一緒に考えることこそ、最大の情報共有であり参加である
(最初から多くの人に当事者意識をもってもらいたい)

「新城方式」の条例づくりの進め方

●前提となる検討期間（目標）

～平成23年4月に、市民会議から提言

（条例の趣旨や内容を分かりやすい言葉でまとめたもの）

～平成24年度中に、自治基本条例を制定・施行

（23年4月以降は、提言書を条文化する委員会等で検討する）

→この時期の市民会議の関わり方についても今後明らかにしていく

●会議の回数や方法

～月2回程度の開催を基本としつつ、必要に応じて増やす。

（良い意味で効率的に。高い生産性を得るためのワークショップ方式）

・過度の負担とならないように、かつ、一石二鳥・三鳥・四鳥をねらう

・「小田原方式※」を、新城市の現状に合わせて改良した進め方はどうか？

→「新城方式」の自治基本条例づくり

※小田原方式：少数精鋭の検討委員会（11人）

自由参加の会議（オープンスクエア、30～80人）

「新城方式」の条例づくりの大まかな流れ（当面）

（1）ウォームアップ段階（H22. 4～6月）

○動きながら市民会議関係者（委員・事務局・専門家）がお互いを知る

○「自治基本条例とは？」ということを考える（結論は出なくでも）

（2）意見収集・素材抽出段階（H22. 7～12月）

①多くの人に参加するワークショップで、様々な人々と水平的関係で交流しつつ、幅広く意見を集める。（会場も移動）

②上記①のワークショップの意見（模造紙）を、市民会議で読み込み、各テーマについての意見を整理したり、重要なポイントを押さえる。

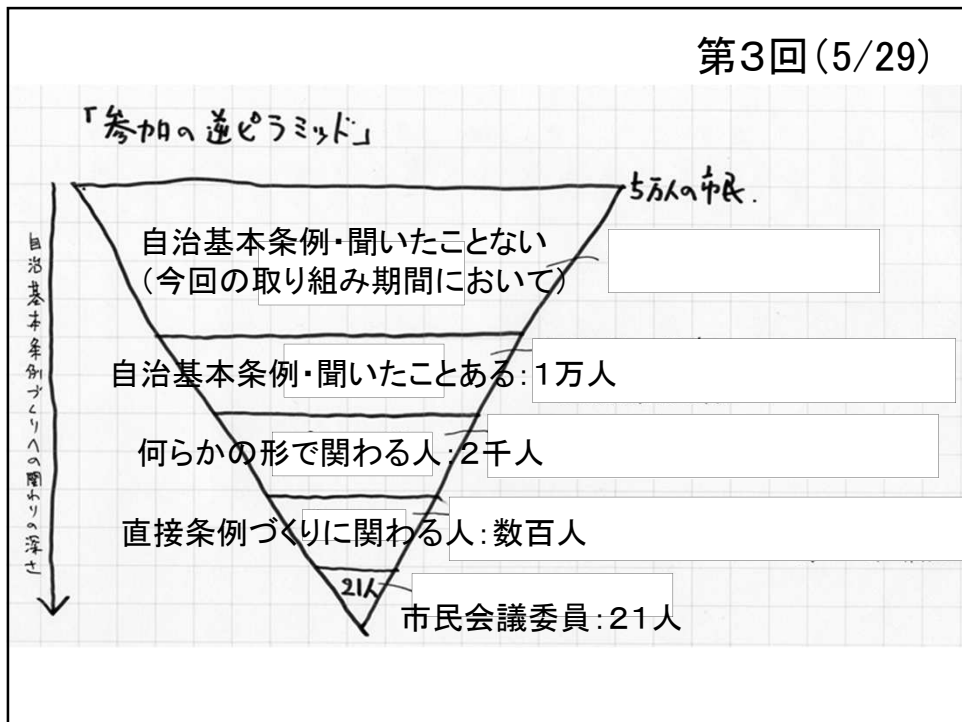
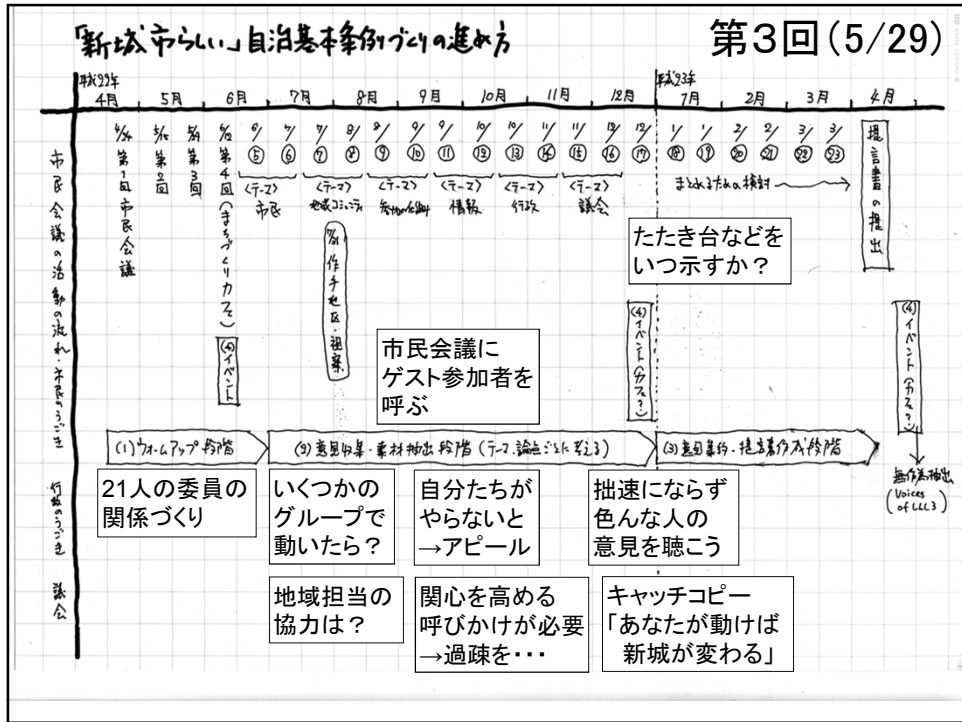
（3）意見集約・提言書作成段階（H23. 1～4月）

③市民会議で上記②で積み重なった各テーマの素材をもとに全体構成とも突き合わせながら（体系化）、意見集約を図っていく。

（まとめ作業では、専門家や事務局のパワーも活かしたい）

※節目のイベント

○「まちづくり大茶話会」のようなイベントを、また時期を見て実施したい



「まちづくり大茶話会(カフェ)・しんしろ」(6/12)
～約90名が参加



「まちづくり大茶話会(カフェ)・しんしろ」(6/12)

「ずっと住み続けたいくなる“しんしろ”を
つくっていくために、みんなで“自治の芽”を育てよう」

○松下先生より話題提供「自治基本条例って、何だろう？」

第1話: ずっと住み続けたいくなる“しんしろ”って、どんなまちだろう？

第2話: 住み続けたいくなる“しんしろ”のために、私たちが
できることはなんだろう？

第3話: みんなの“しんしろ”への思いや力を活かすために
必要なことはなんだろう？

○全体でみんなが話したことを共有し、今後へつなげていきましょう

第5回市民会議(6/26)

自治基本条例の大まかな全体像について(松下先生)

1. 基本的な考え方[目的、理念、原則など]
2. 市民~まちづくりの担い手としての市民、様々な立場、役割の違い
3. 地域コミュニティと市民活動(NPO)
4. 議会
5. 行政
6. 自治を創造する仕組み
7. 条例をより良く活かすためのしくみ
8. その他

第6回市民会議(今回)の趣旨・進め方

●集めた市民等の声を条例づくりに活かす実践

~「まちづくり大茶話会」の成果を素材として

- ①みんなの意見を読み込み、大切だと思うものを抜き出す
- ②みんなの意見を読んだり、話し合ったり中で、新たに生まれた大切な考えを書き出す
- ③抜き出した意見、新たに生まれた考えを、前回の「大まかな全体像」の項目で分けてみる

さらに・・・

★今後も、地域やテーマ毎のワークショップで出された意見を同じように読み込み、今後活かしていく

★これから場数を踏んで、どんどんうまくなっていく